

# IR説明会資料

## 2014年3月期第2四半期決算

株式会社 極 洋 (証券コード: 1301)

<http://www.kyokuyo.co.jp>

食卓に、海のおいしさと、おどろきを



<http://www.seamarche.jp>



# 目次



## 2014年3月期 第2四半期の概要

- ・トピックス 3～8 ページ
- ・決算概要 9～24 ページ

## 2014年3月期 業績予想及び下半期方針

- ・概要 25～30 ページ
- ・事業セグメント別下半期予想・方針 31～35 ページ
- ・投資計画 36 ページ



# 2014年3月期 第2四半期の概要

## (株)エイペックス・キョクヨー 当社グループに加わる【4月】



所在地 : 兵庫県姫路市

営業内容 : 焼魚を主体とした水産加工品及び  
惣菜品の製造・販売



2013年 4月 資本参加(当社持分49%)

同月 (株)エイペックス・サンヨーより商号変更

シナジー効果【原料調達、加工ノウハウ共有、販売網拡大等】の最大限発揮



極洋グループ加工事業の更なる飛躍につなげる



# トピックス



## 新ブランド「シーマルシェ」発表【6月】

- ・極洋の強み【水産会社としてのこだわり、ノウハウ】を生かした家庭用商品ブランド
- ・「魚のコンシェルジュ」として、「食卓にうれしいサプライズ」を提供

ブランド名 : シーマルシェ

商品数 : 18品(平成25年10月現在)

ブランドサイト : <http://www.seamarche.jp>



## だんどり上手シリーズ発表【7月】

- ・毎日忙しい現場で“だんどりよく”調理してもらうための商品
- ・骨なし切身製品は、当社独自製法にて製造  
(冷凍のまま調理可能)
- ・老健食や事業所給食向けに今後もシリーズを拡大

商品数 : 21品(平成25年10月現在)

製品キャラクター  
「だんどり～にゃ」誕生



## 第15回 ジャパン・インターナショナル・シーフードショー 【平成25年8月21日～23日(東京ビックサイト)】

### 来場者アンケート「印象に残った企業 1位」

- 来場者へのアンケート調査で、当社ブースが最も印象に残った企業 1位に選出
- 来場者別においても、小売業で1位、外食業で2位、商社・卸売業・流通業で3位に選出

投票理由:「養殖鮪のコンシューマーパックが展示されており、扱いやすく商品に対する可能性を感じた」  
「国産で品質もよく、脂がのった鮪のインパクトが強かった」等

その他、当社ブースでは、シーマルシェ商品、ファストフィッシュ商品など市販商品をメインに展示



当社出展ブース



「本鮪の極」の展示ブース

## 新工場建設を発表 【9月】

名称 : 極洋食品(株) 塩釜工場 (仮称)

所在地 : 宮城県塩釜市新浜町

(現 極洋食品(株)本社工場敷地内)

建築面積 : 約3,000m<sup>2</sup>

総投資額 : 約45億円

生產品目 : 業務用冷凍食品(天ぷら、フライ、グラタン、焼魚 他)

家庭用冷凍食品(お弁当商品、おかず、惣菜商品 他)

生産計画 : 約7,000t(平成31年目標)

竣工予定 : 平成27年5月

特徴 : ア. 家庭用冷凍食品や自然解凍冷凍食品など、**新カテゴリー商品への対応**

イ. 当社の調達力を生かし、水産物を中心とした**こだわり原料を使用した基幹工場**

ウ. 生産効率を高め、マーケットの変化に迅速に対応できる**新技術、最新設備の導入**

エ. 環境に配慮した設計、品質管理体制の充実による**安心・安全な商品の提供**

オ. 新規雇用の創出等による**地域経済活性化**



現 極洋食品(株)本社工場 外観



# トピックス



## 極洋海運(株) 吸収合併を発表 【10月】

### 極洋海運(株)の概要

所在地	東京都中央区
事業内容	果実・野菜・魚介類及び酪農品の海上輸送業
資本金	2億円
当社持株比率	100%

### 合併の日程

契約締結日	平成25年10月21日
実行予定日	平成26年 3月 1日

# 第2四半期決算概要

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

	実績		前年同期比		当初予想	当初予想比	
	第2四半期連結累計期間				第2四半期 連結累計期間		
	2013年3月期 (前期)	2014年3月期 (当期)	(増減金額)	(増減比率)	2014年3月期 (当期)	(増減金額)	(増減比率)
<b>売上高</b>	<b>85,541</b>	<b>94,101</b>	<b>8,560</b>	<b>10.0%</b>	<b>86,000</b>	<b>8,101</b>	<b>9.4%</b>
<b>営業利益</b>	<b>393</b>	<b>1,404</b>	<b>1,010</b>	<b>256.8%</b>	<b>1,300</b>	<b>104</b>	<b>8.0%</b>
営業外収益	428	303	△125	—	—	—	—
営業外費用	209	207	△2	—	—	—	—
<b>経常利益</b>	<b>612</b>	<b>1,500</b>	<b>887</b>	<b>144.9%</b>	<b>1,200</b>	<b>300</b>	<b>25.0%</b>
特別利益	41	1,482	1,440	—	—	—	—
特別損失	45	23	△21	—	—	—	—
税金等調整前四半期純利益	<b>609</b>	<b>2,958</b>	<b>2,349</b>	—	—	—	—
<b>四半期純利益</b>	<b>160</b>	<b>1,880</b>	<b>1,720</b>	<b>1073.9%</b>	<b>600</b>	<b>1,280</b>	<b>213.4%</b>

- ・売上高 : 水産商事、冷凍食品、常温食品が伸張し、全体でも前年同期比85億円、当初予想比81億円の増収
- ・営業利益 : 水産商事、物流サービスの増益が、冷凍食品、常温食品、鯉・鮪の減益をカバーし、全体では前年同期比10億円、当初予想比1億円の増益
- ・営業外収益 : 外国為替差益減他 ・営業外費用 : 支払利息減他 ・特別利益 : 厚生年金代行返上益12億円他
- ・四半期純利益 : 前年同期比17億円、当初予想比12億円の増益

# 第2四半期決算概要

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2012年9月末	2013年9月末	前年同期比
	資産の部		
流動資産	63,910	68,061	4,151
固定資産	19,632	20,935	1,303
資産合計	83,542	88,996	5,454
	負債の部		
流動負債	58,067	55,122	△2,945
固定負債	8,841	13,618	4,776
負債合計	66,909	68,740	1,831
	純資産の部		
純資産合計	16,633	20,256	3,623

主な増減内訳(対前年同期比) (単位:億円)

流動資産	受取手形及び売掛金 たな卸資産	+14 +15
固定資産	有形固定資産 投資その他の資産	△5 +20
流動負債	支払手形及び買掛金 短期借入金	+9 △44
固定負債	長期借入金 退職給付引当金	+54 △6
純資産合計	利益剰余金 その他有価証券評価差額金	+25 +8

# 第2四半期決算概要

## 連結キャッシュ・フロー計算書

	第2四半期連結累計期間		
	2013年3月期(前期) (単位:百万円)	2014年3月期(当期) (単位:百万円)	当期 第2四半期(連結累計期間)の主な内訳
営業活動による キャッシュ・フロー	2,003	△3,395	税金等調整前四半期純利益 +29億円 売上債権増 △15億円 たな卸資産増 △43億円 仕入債務増 +18億円
投資活動による キャッシュ・フロー	△331	△1,693	固定資産の取得 △5億円 投資有価証券の取得 △7億円
財務活動による キャッシュ・フロー	△2,012	4,559	短期借入金純増 +57億円 長期借入金返済 △5億円
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△2	49	
現金及び現金同等物の 増減額	△342	△479	
現金及び現金同等物の 期末残高	3,095	3,329	

# 第2四半期決算概要

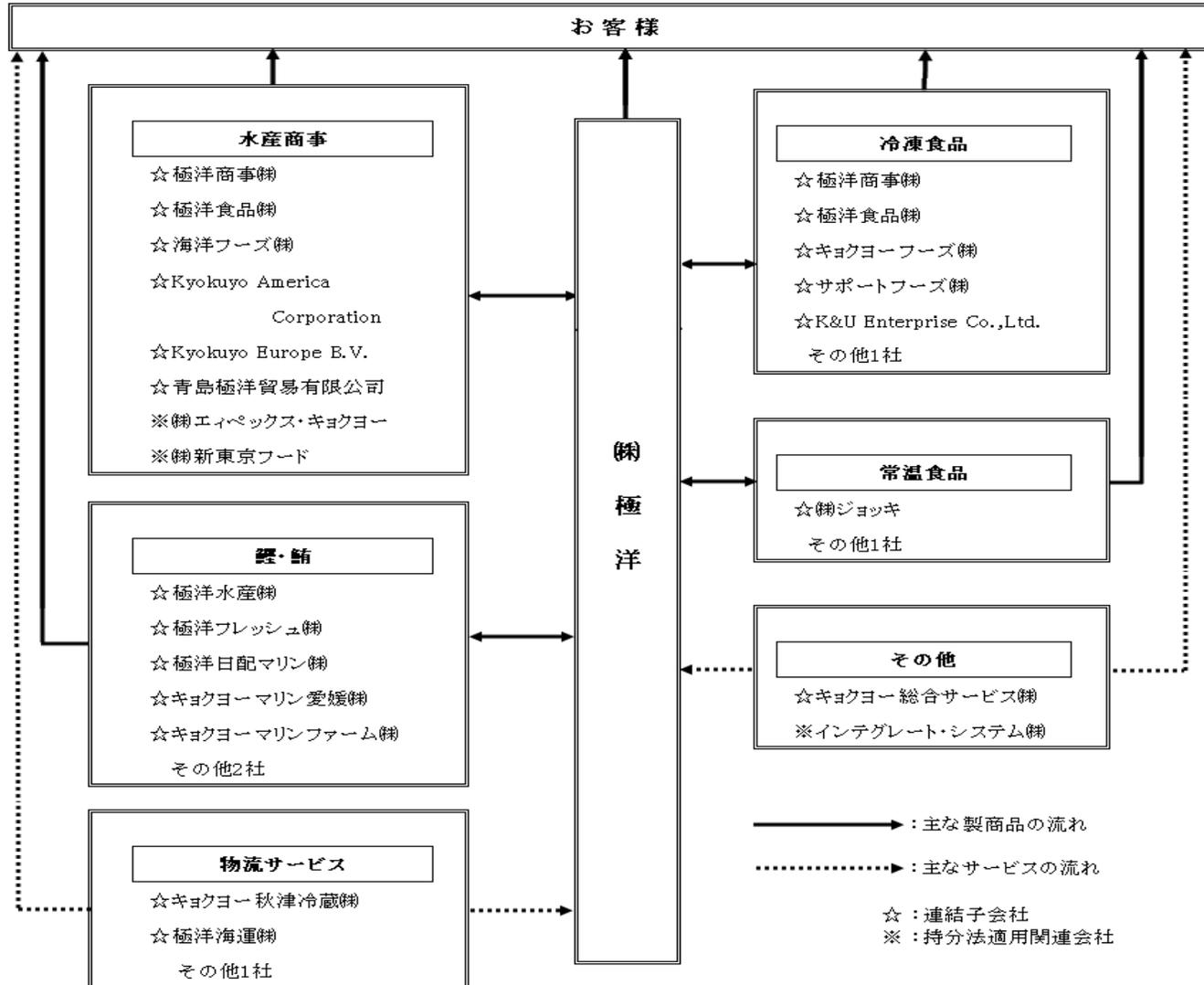
## 連結経営指標

	2012年9月末	2013年9月末	前年同期比
純資産	16,633百万円	20,256百万円	+3,623百万円
自己資本比率	19.6%	22.5%	+2.9ポイント
商製品在庫金額	30,054百万円	29,560百万円	△494百万円
在庫回転日数	64.1日	57.3日	△6.8日
有利子負債	463億円	475億円	+12億円
負債資本倍率(D/Eレシオ)	2.7倍	2.4倍	△0.3ポイント
自己資本利益率(ROE)	1.0%	9.8%	+8.8ポイント
総資産経常利益率(ROA)	0.7%	1.7%	+1.0ポイント
売上高営業利益率	0.5%	1.5%	+1.0ポイント
1株当たり純資産	155円91銭	190円74銭	+34円83銭
1株当たり四半期純利益	1円53銭	17円90銭	+16円37銭



# 第2四半期決算概要

## 当社グループの状況(2013年9月末現在)



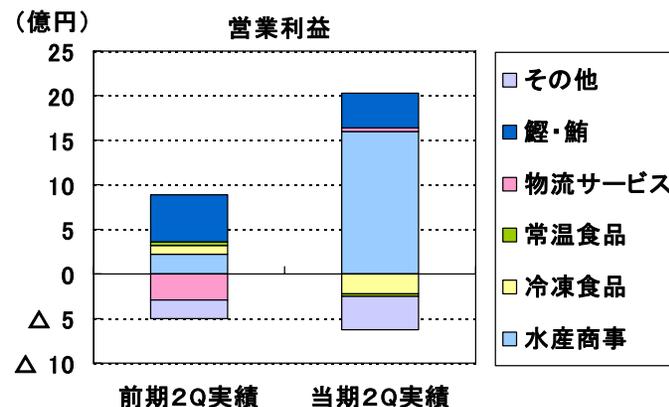
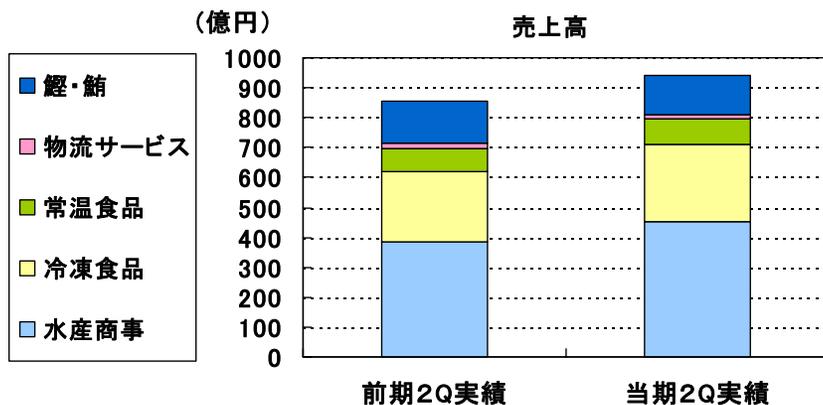
極洋及び連結子会社22社、関連会社3社により構成

# 第2四半期決算概要

## 事業セグメント別売上高・営業利益

(単位: 百万円)

	売上高			営業利益		
	第2四半期連結累計期間		前年同期比	第2四半期連結累計期間		前年同期比
	2013年3月期(前期)	2014年3月期(当期)		2013年3月期(前期)	2014年3月期(当期)	
水産商事	38,475	45,330	6,854	227	1,599	1,371
冷凍食品	23,689	25,521	1,832	98	△219	△317
常温食品	7,478	8,652	1,173	36	△33	△70
物流サービス	2,016	1,503	△512	△297	40	337
鰹・鮪	13,846	13,057	△789	528	393	△134
その他・本部調整	34	36	2	△200	△376	△175
合計	85,541	94,101	8,560	393	1,404	1,010

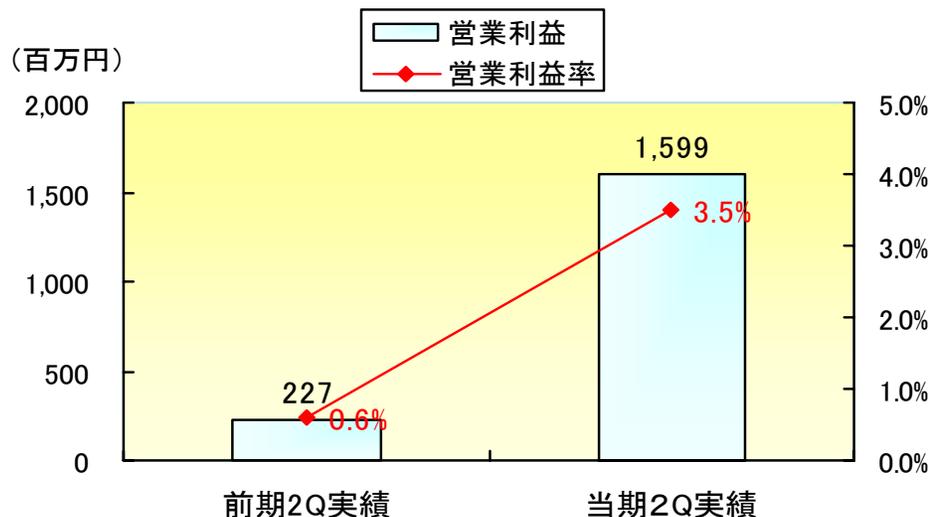
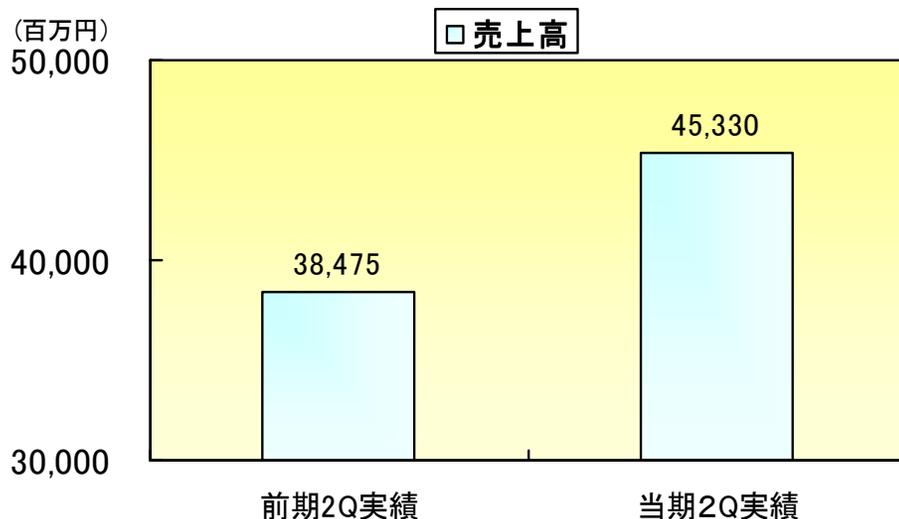


# 第2四半期決算概要

## 事業セグメント別概況



### 1. 水産商事事業-水産物の買付・販売



#### 【第2四半期の状況】

##### 【売上高】

水産物市況が全般的に上昇する中、豊富な経験と、産地業者との永い歴史により培われた信頼関係をもとに、前年以上の安定した水産物の供給を受け、鮭鱒、北洋魚などの加工原料、切身、漬魚製品などの付加価値商品を拡販

##### 【営業利益】

市況が上昇する局面の中での積極的な拡販に加え、海老などコスト上昇分の販売価格への転嫁を地道に進めたことも寄与

# 第2四半期決算概要

## 事業セグメント別概況

### 【個別】 水産商事事業 魚種別売上重量・金額・単価

(単位:重量:トン、金額:百万円、単価:円/KG)

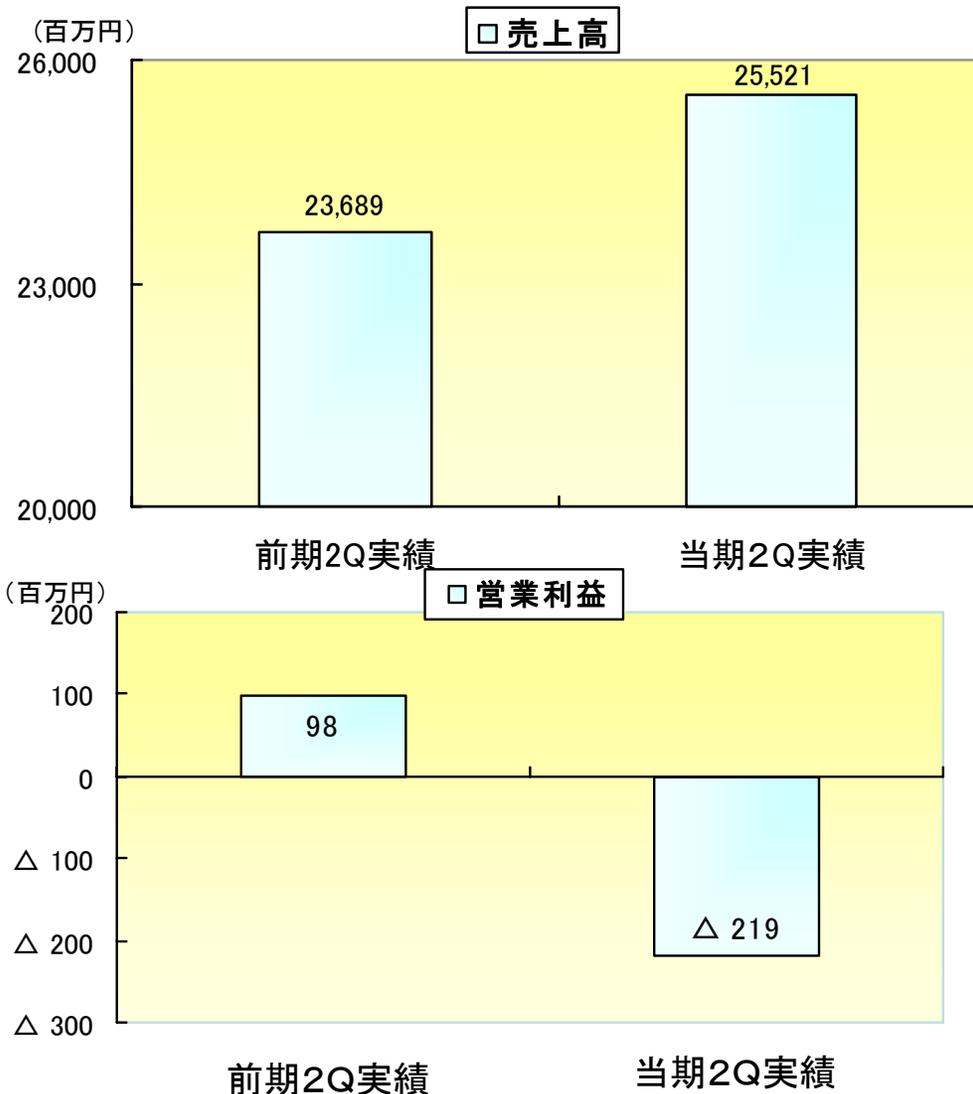
	第2四半期累計期間						前年同期比		
	2013年3月期 (前期)			2014年3月期 (当期)					
	重量	金額	単価	重量	金額	単価	重量	金額	単価
鮭鱒	17,870	9,765	546	22,690	14,444	637	4,819	4,679	90
南方魚	3,986	2,562	643	4,178	2,544	609	192	△19	△34
北洋魚	19,628	8,095	412	20,567	9,872	480	938	1,778	68
エビ	10,006	8,681	868	9,589	10,595	1,105	△417	1,914	237
カニ	1,543	2,493	1,616	1,904	2,928	1,537	361	434	△79
鱒鯖鱒	3,694	1,200	325	4,091	1,237	302	396	37	△22
魚卵	2,035	2,686	1,320	1,855	2,463	1,328	△180	△223	8
その他	3,866	2,124	549	5,160	3,355	650	1,294	1,229	100
計	62,629	37,605	600	70,033	47,435	677	7,404	9,830	77

# 第2四半期決算概要

## 事業セグメント別概況



### 2. 冷凍食品事業—水産冷凍食品・調理冷凍食品の加工及び販売



#### 【第2四半期の状況】

##### 《水産冷凍食品》

寿司種を中心とした生食用商品、煮魚などの切身商材の取扱伸張

原材料価格の上昇や円安の影響などによるコスト上昇により利益率低下

##### 《調理冷凍食品》

かに風味かまぼこは、積極的な拡販により伸張

海老加工品など海外加工品は、コスト上昇による利益率の低下を、規格変更などで対応するも、販売競争激化の影響により販売数量減

# 第2四半期決算概要

## 事業セグメント別概況

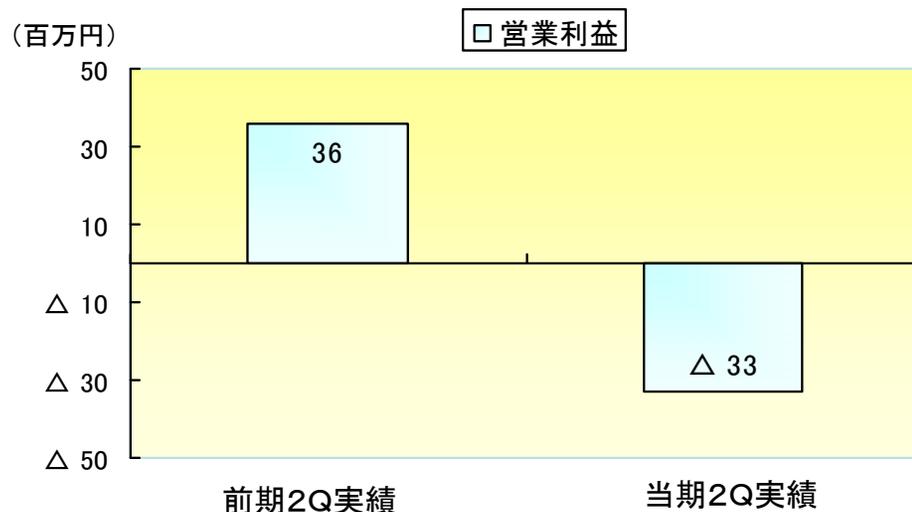
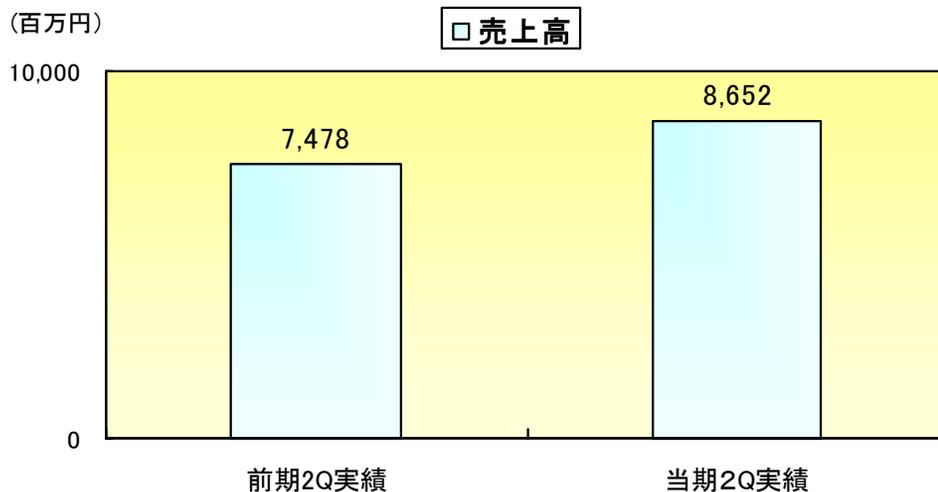


### 【個別】 冷凍食品事業 事業別売上重量・金額・単価

(単位:重量:トン、金額:百万円、単価:円/KG)

	第2四半期累計期間						前年同期比		
	2013年3月期 (前期)			2014年3月期 (当期)					
	重量	金額	単価	重量	金額	単価	重量	金額	単価
水産冷凍食品	17,933	15,545	867	19,385	17,314	893	1,452	1,769	26
調理冷凍食品	12,866	6,998	544	12,101	6,951	574	△765	△47	31
計	30,799	22,544	732	31,486	24,265	771	687	1,722	39

### 3. 常温食品事業—缶詰・珍味製品他の加工及び販売



#### 【第2四半期の状況】

##### 《缶詰》

ツナ缶やサバ缶など拡販  
 原材料価格などのコスト上昇に対し、  
 コスト削減、販売価格への転嫁などの  
 遅れにより利益率低下

##### 《ドライフード・通信販売・健康食品》

ドライフード: 新製品の投入、PB商品  
 の積極的な取り組みなどが奏功し増収  
 経費削減等により、利益確保

通信販売: お中元時期の需要は堅調

健康食品: 新製品の開発、新規顧客の  
 開拓に注力

# 第2四半期決算概要

## 事業セグメント別概況

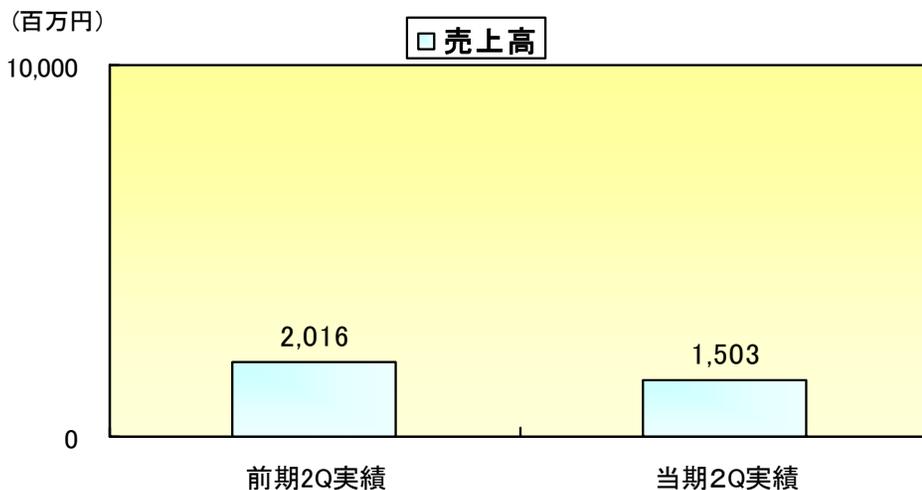


### 【個別】 常温食品事業 売上金額

(単位:百万円)

	第2四半期累計期間		前年同期比
	2013年3月期 (前期)	2014年3月期 (当期)	
缶詰・珍味製品等	5, 201	5, 867	666

## 4. 物流サービス事業—冷蔵倉庫事業・冷蔵運搬船事業



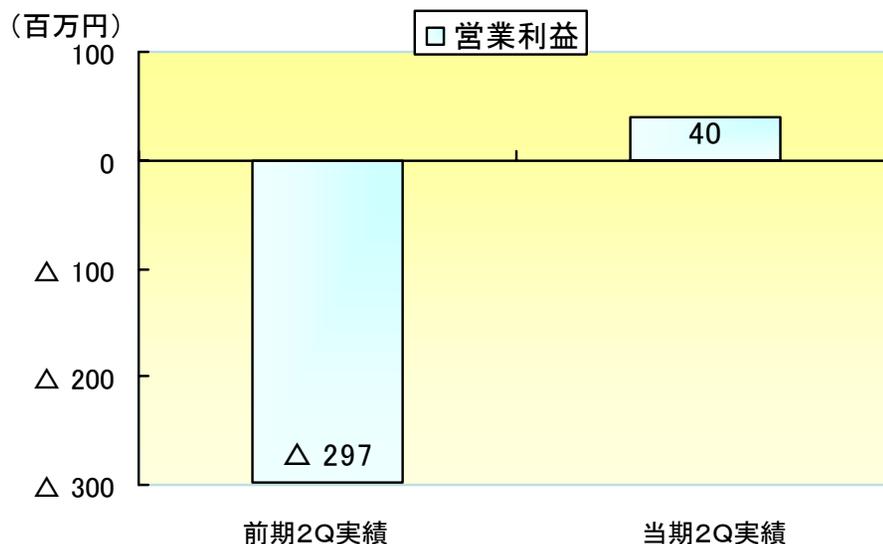
### 【第2四半期の状況】

#### 《冷蔵倉庫事業》

水産品の輸入量減少、電気料金値上げなどの影響を受けるも、経費削減に努め減収増益

#### 《冷蔵運搬船事業》

長期契約を中心とした効率的な配船に注力  
事業スリム化に円安による収益への寄与もあり、損失幅は大幅に縮小

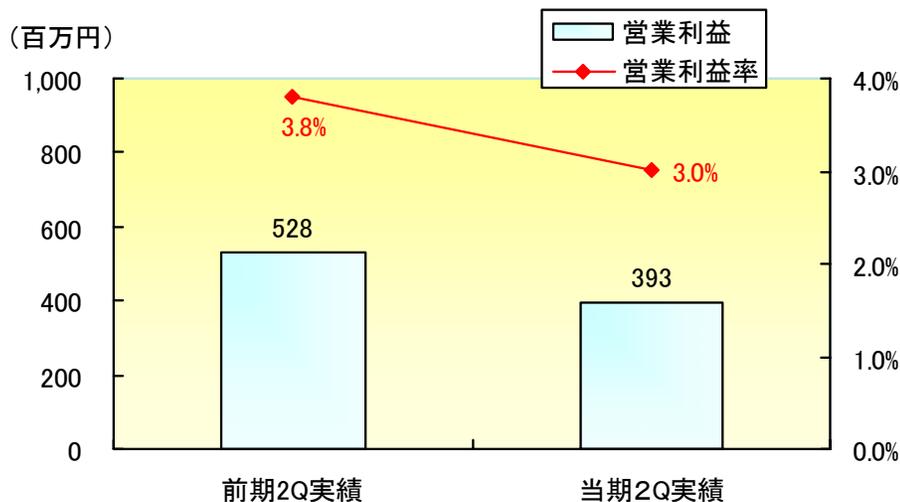
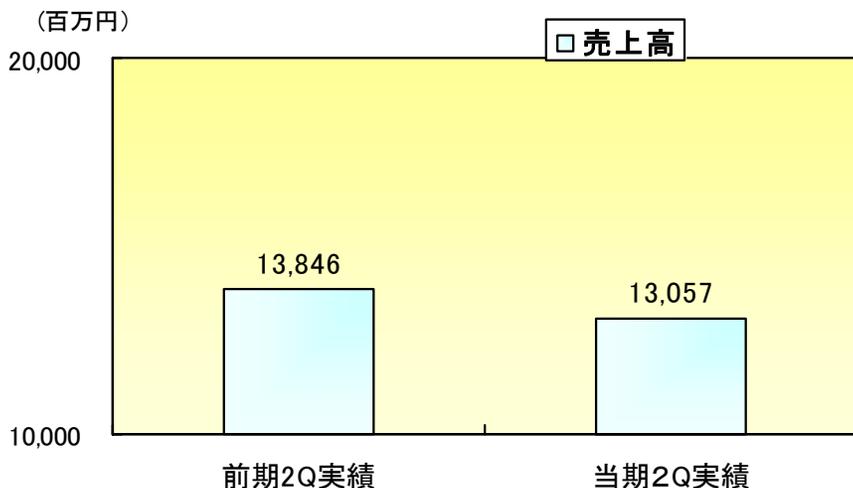


# 第2四半期決算概要

## 事業セグメント別概況



### 5. 鰹・鮪事業—海外まき網事業・養殖事業・鰹鮪加工及び販売事業



#### 【第2四半期の状況】

##### 《海外まき網事業》

	第2四半期累計期間		前年同期比
	前期	当期	
水揚げ重量(千トン)	17	12	△5
水揚げ金額(億円)	31	23	△8
単価(円/kg)	188	200	+12

船舶の定期点検実施などにより水揚げ数量減  
単価は期間を通じて堅調推移

##### 《養殖事業》

計画的な販売で増収確保  
ヨコワ確保に努める  
人工孵化事業では、孵化魚の沖出し実施

##### 《加工及び販売事業》

鰹、赤身商材の取扱減などにより減収  
在庫及び経費削減に努める

# 第2四半期決算概要

## 事業セグメント別概況



### 【個別】 鰹・鮪事業 事業別売上重量・金額・単価

(単位:重量:トン、金額:百万円、単価:円/KG)

	第2四半期累計期間						前年同期比		
	2013年3月期 (前期)			2014年3月期 (当期)					
	重量	金額	単価	重量	金額	単価	重量	金額	単価
鰹・鮪	11,752	10,803	919	9,851	10,212	1,037	△1,901	△590	118

# 第2四半期決算概要

## 個別損益計算書

(単位:百万円)

	実績		前年同期比		当初予想	当初予想比	
	第2四半期累計期間				第2四半期累計期間		
	2013年3月期 (前期)	2014年3月期 (当期)	(増減金額)	(増減比率)	2014年3月期 (当期)	(増減金額)	(増減比率)
売上高	76,546	88,161	11,614	15.2%	81,000	7,161	8.8%
営業利益	153	1,367	1,213	790.5%	1,000	367	36.8%
経常利益	353	1,457	1,103	311.9%	1,000	457	45.7%
四半期純利益	79	1,834	1,754	2210.7%	1,000	834	83.4%

- ・売上高 :水産商事、冷凍食品、常温食品が伸張り、全体でも前年同期比116億円、当初予想比71億円の増収
- ・営業利益 :水産商事、冷凍食品、鯉・鯖の増益が、常温食品の減益をカバーし、全体では前年同期比12億円、当初予想比3億円の増益
- ・特別利益 :厚生年金代行返上益12億円他
- ・四半期純利益 :前年同期比17億円、当初予想比8億円の増益



# 2014年3月期 業績予想及び下半期方針



# 2014年3月期 業績予想及び下半期方針



## 1. 事業を取り巻く環境

### 経済・社会情勢

- ・社会構造は大きな変革期
  - 少子高齢化、女性の社会進出、グローバル化の進展など
- ・アベノミクス効果で、日本経済は景気回復局面
- ・来年4月の消費税増税が個人消費に与える影響は懸念材料

### 水産・食品業界

- ・鮪など資源保護の観点からの漁獲規制強化
- ・消費者の嗜好多様化（低価格志向の一方でプレミアムPBは好調など）
- ・水産物消費：日本国内は縮小、海外は拡大傾向
- ・水産物市況：全般的に高値圏、今後の推移は注視が必要
- ・原料調達コストの上昇



# 2014年3月期 業績予想及び下半期方針



## 2. 下半期基本方針

来期(中期経営計画「パワーアップ キョクヨー2015」の最終年度)の  
目標達成のため、土台を強化

- 最大の需要期である年末販売の売上拡大に注力
- 先々の市況、販売動向を見据えた仕入、在庫管理の徹底
- 食品部門の収益力強化  
—コスト上昇圧力に対する、収益確保策の具現化  
(環境変化への対応力、メーカー力の向上)
- 家庭用商品(シーマルシェ商品など)の開発、拡販  
—家庭用冷凍食品の新製品発表《来春新製品発表会にて》
- 新工場建設(平成27年5月竣工予定)に向けた計画推進



# 2014年3月期 業績予想及び下半期方針



## 3. 連結業績予想

(単位:百万円)

		売上高	営業利益	(営業利益率)	経常利益	(経常利益率)	当期(四半期) 純利益	1株当たり当期 (四半期)純利益 (円)
上半期	当期実績	94,101	1,404	1.5%	1,500	1.6%	1,880	17.90
	前期実績	85,541	393	0.5%	612	0.7%	160	1.53
	(前年同期比)	8,560	1,010	1.0%	887	0.9%	1,720	16.37
	当初予想	86,000	1,300	1.5%	1,200	1.4%	600	5.71
	(当初予想比)	8,101	104	0.0%	300	0.2%	1,280	12.19
下半期	当期予想	93,898	1,695	1.8%	1,599	1.7%	1,419	13.52
	前期実績	92,504	1,930	2.1%	1,650	1.8%	1,109	10.55
	(前年同期比)	1,394	△235	△0.3%	△50	△0.1%	311	2.97
	当初予想	91,000	2,000	2.2%	2,000	2.2%	1,200	11.43
	(当初予想比)	2,899	△304	△0.4%	△400	△0.5%	220	2.09
通期	当期予想	188,000	3,100	1.7%	3,100	1.7%	3,300	31.42
	前期実績	178,046	2,324	1.3%	2,262	1.3%	1,269	12.08
	(前年同期比)	9,953	775	0.4%	838	0.4%	2,031	19.34
	当初予想	177,000	3,300	1.9%	3,200	1.8%	1,800	17.14
	(当初予想比)	11,000	△200	△0.2%	△100	△0.1%	1,500	14.28



# 2014年3月期 業績予想及び下半期方針



## 4. 個別業績予想

(単位:百万円)

		売上高	営業利益	(営業利益率)	経常利益	(経常利益率)	当期(四半期) 純利益	1株当たり当期 (四半期)純利益 (円)
上半期	当期実績	88,161	1,367	1.6%	1,457	1.7%	1,834	17.46
	前期実績	76,546	153	0.2%	353	0.5%	79	0.76
	(前年同期比)	11,614	1,213	1.4%	1,103	1.2%	1,754	16.71
	当初予想	81,000	1,000	1.2%	1,000	1.2%	1,000	9.52
	(当初予想比)	7,161	367	0.4%	457	0.5%	834	7.94
下半期	当期予想	87,838	1,232	1.4%	1,142	1.3%	165	1.58
	前期実績	84,064	837	1.0%	1,038	1.2%	727	6.93
	(前年同期比)	3,774	395	0.4%	105	0.1%	△561	△5.35
	当初予想	86,000	1,300	1.5%	1,200	1.4%	700	6.66
	(当初予想比)	1,838	△67	△0.1%	△57	△0.1%	△534	△5.09
通期	当期予想	176,000	2,600	1.5%	2,600	1.5%	2,000	19.04
	前期実績	160,610	990	0.6%	1,392	0.9%	806	7.68
	(前年同期比)	15,389	1,609	0.9%	1,207	0.6%	1,193	11.36
	当初予想	167,000	2,300	1.4%	2,200	1.3%	1,700	16.19
	(当初予想比)	9,000	300	0.1%	400	0.2%	300	2.85



# 2014年3月期 業績予想及び下半期方針

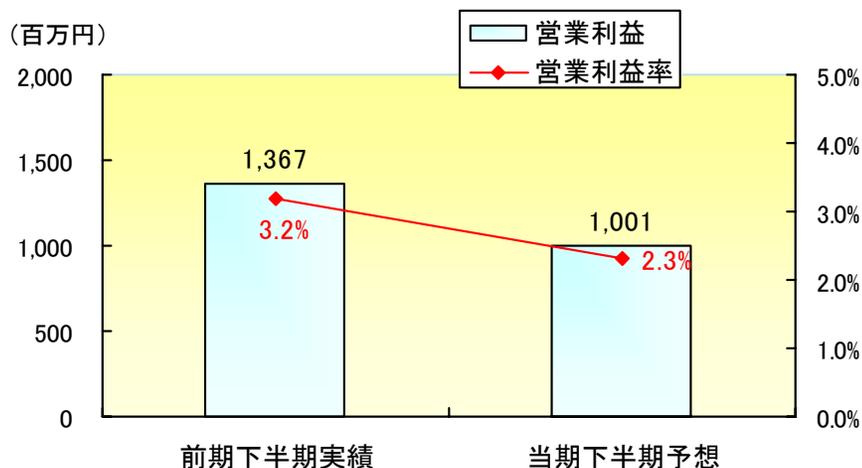
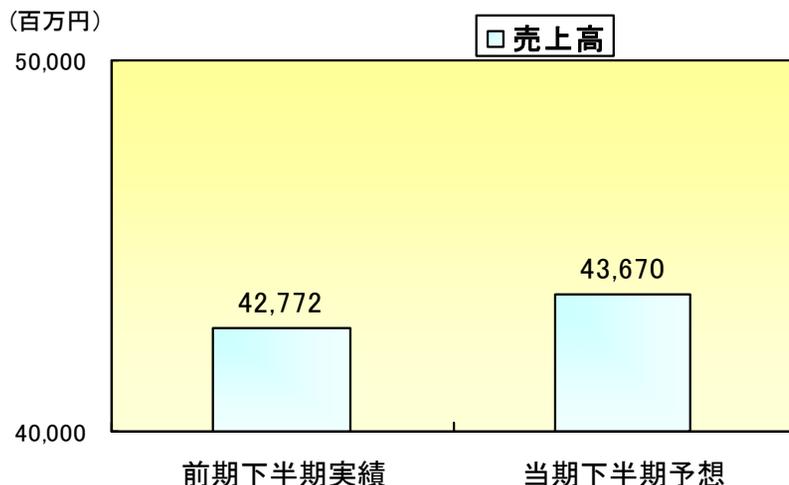


## 5. 事業セグメント別売上高・営業利益 予想

(単位:百万円)

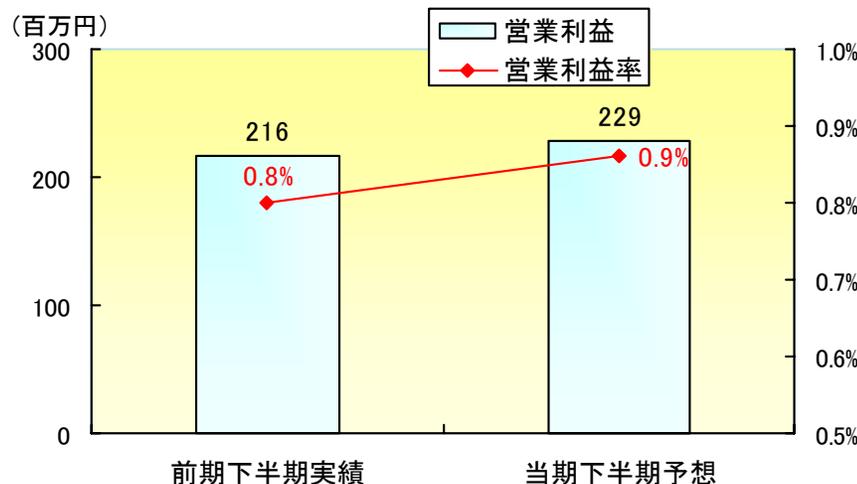
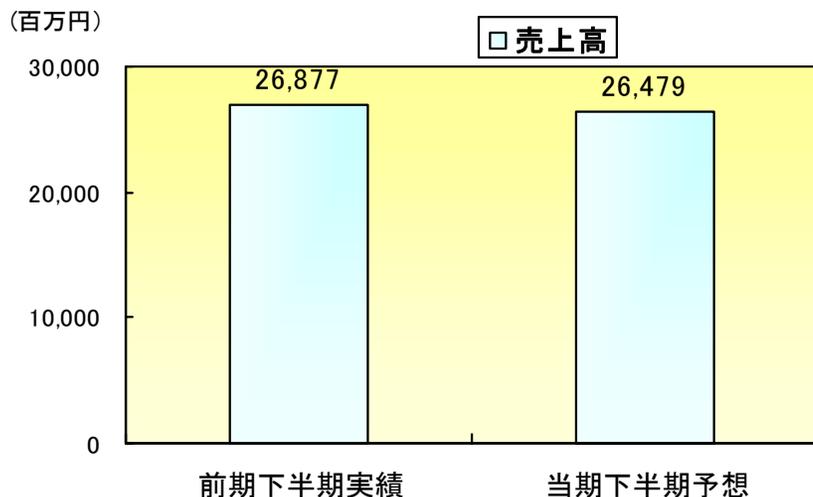
	売上高							営業利益						
	上半期		下半期		通期			上半期		下半期		通期		
	当期実績	前期実績	修正予想	前期実績	修正予想	前期実績	当初予想	当期実績	前期実績	修正予想	前期実績	修正予想	前期実績	当初予想
水産商事	45,330	38,475	43,670	42,772	89,000	81,247	78,000	1,599	227	1,001	1,367	2,600	1,594	1,600
冷凍食品	25,521	23,689	26,479	26,877	52,000	50,566	52,000	△219	98	229	216	10	314	900
常温食品	8,652	7,478	7,848	8,012	16,500	15,490	15,000	△33	36	63	108	30	144	300
物流サービス	1,503	2,016	1,497	1,419	3,000	3,435	3,000	40	△297	30	△27	70	△324	0
鯉・鮪	13,057	13,846	14,443	13,392	27,500	27,238	29,000	393	528	607	372	1,000	900	1,000
その他・本部調整	36	34	△36	33	0	67	0	△376	△200	△234	△105	△610	△305	△500
合計	94,101	85,541	93,899	92,505	188,000	178,046	177,000	1,404	393	1,696	1,931	3,100	2,324	3,300

## 1. 水産商事事業



- ・最大需要期である年末販売での拡販
- ・在庫管理の徹底
- ・付加価値商材の開発・拡販  
定塩鮭、漬魚製品  
かに製品  
むきえび、伸ばし海老  
アルゼンチン赤海老
- ・冷凍食品部門、常温食品部門との連携  
シーマルシェ商品の原料供給  
など協業体制の仕組みづくり
- ・三国間貿易、国内産品の輸出拡大

## 2. 冷凍食品事業



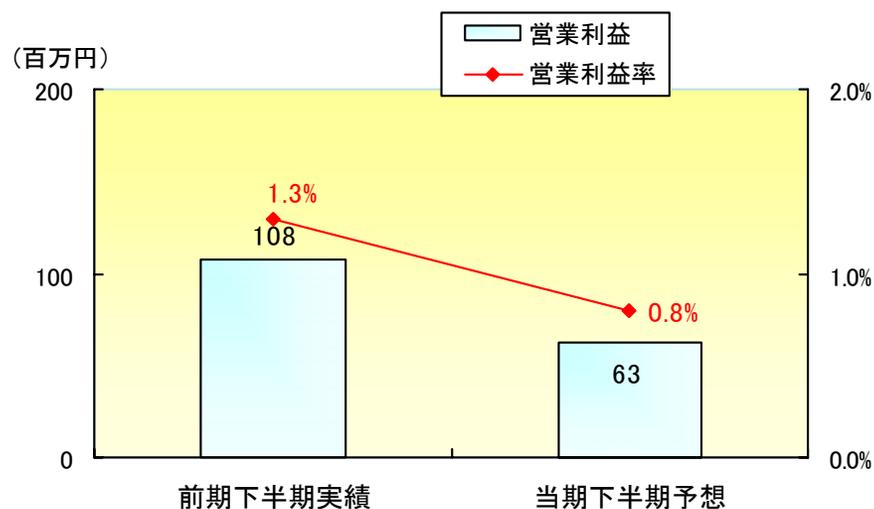
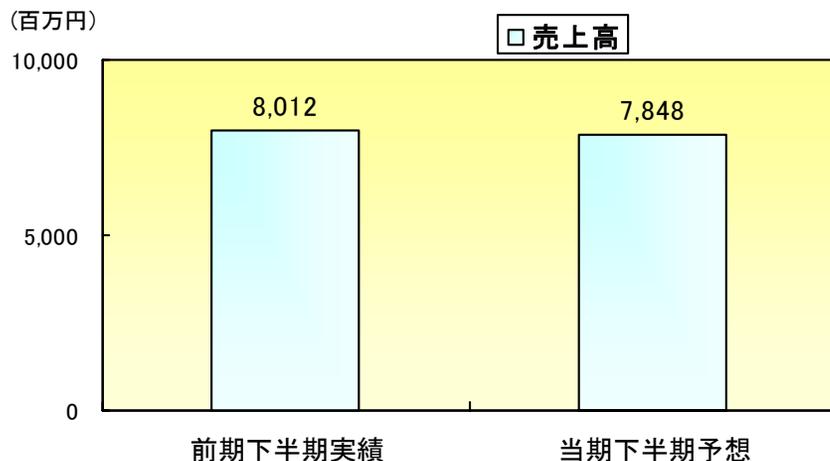
### 《水産冷凍食品》

- ・大手ユーザー（大手回転寿司チェーン、量販店など）との取組の更なる強化
- ・寿司・刺身生食商材（鰹・鮪含）年間売上目標220億円の達成
- ・新規商品の市場投入  
だんどり上手シリーズ  
シーマルシェ 煮魚商品のリニューアル

### 《調理冷凍食品》

- ・直系工場製品の開発・拡販  
新工場建設に向けた商品開発
- ・海外加工製品のコスト削減、開発・拡販  
原料調達、生産、販売部門の連携強化

## 3. 常温食品事業

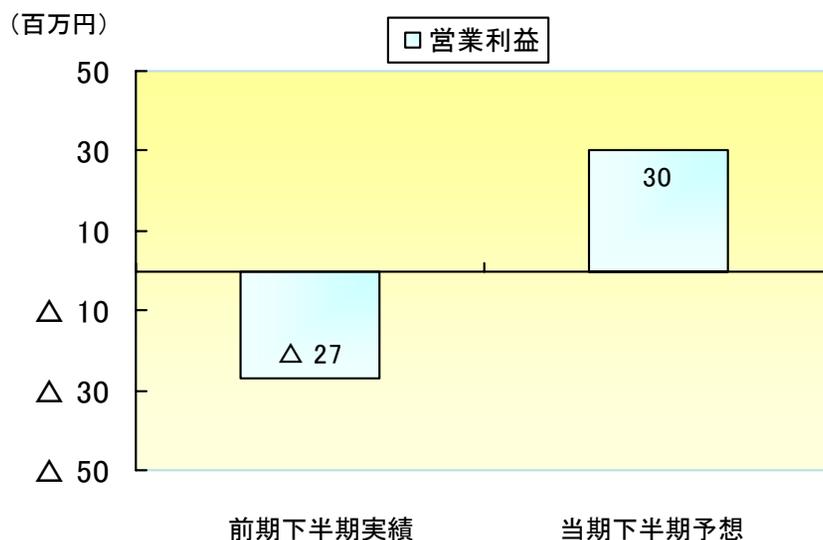
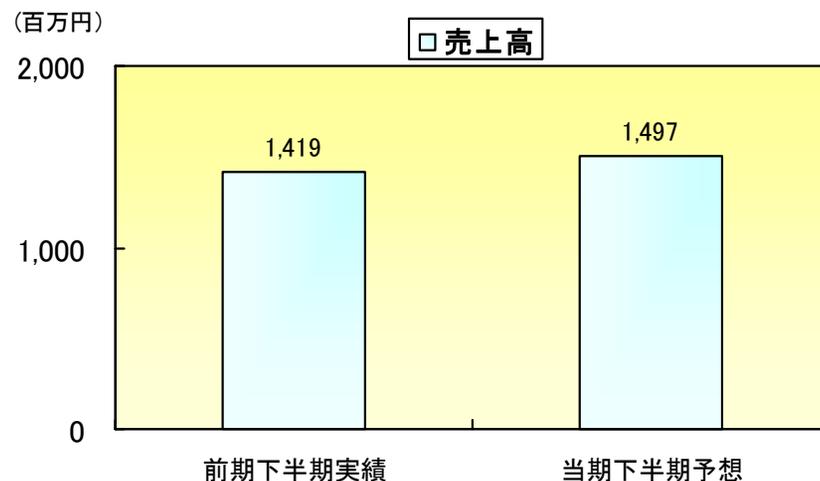


### 缶詰事業の収益回復

- ・既存品の規格変更、価格修正  
商品アイテムの見直し
- ・新商品、新カテゴリ商品の開発・拡販  
シーマルシェ商品  
電子レンジシリーズ商品
- ・PB商品への取組

### ECサイト構築

## 4. 物流サービス事業



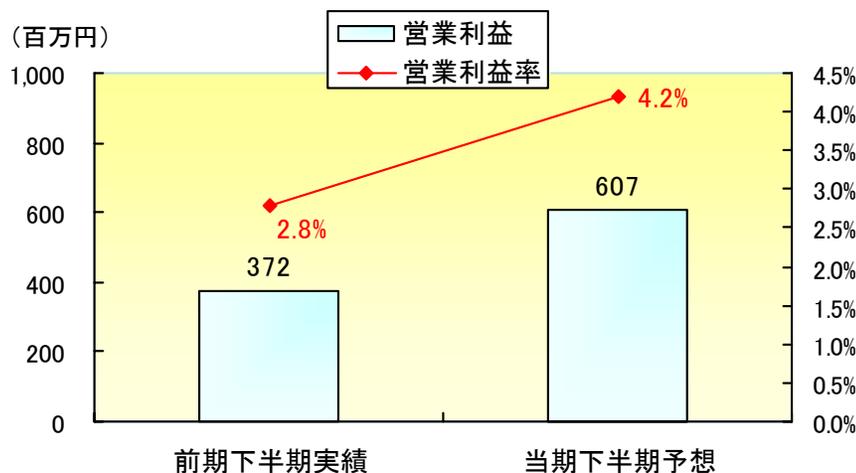
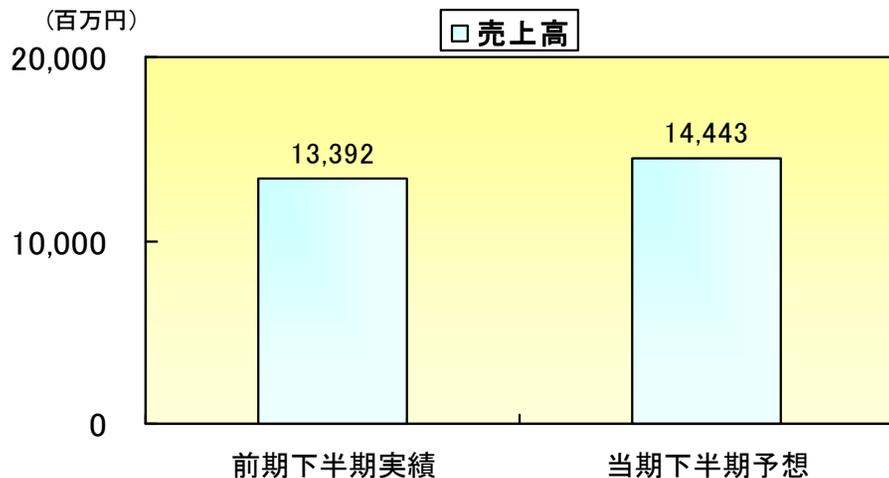
### 《冷蔵倉庫事業》

- ・積極的な営業活動による大口貨物の集荷に注力
- ・電力料金値上げなどによる利益圧迫要因に対し、経費の削減を進める一方、保管料率の見直し

### 《冷蔵運搬船事業》

- ・年間契約の更新と運賃のアップ
- ・効率のよい配船、運航の継続、経費削減

## 5. 鰹・鮪事業



### 《海外まき網事業》

- ・運航効率の向上、経費削減の継続
- ・「わかば丸」の漁獲原料を使用した商品の開発、拡販  
シーマルシェ ツナリッチ(缶詰)など

### 《養殖事業》

- ・計画的販売の継続
- ・稚魚の歩留まり向上
- ・飼料コストなど経費削減
- ・人工孵化事業における生存率の向上  
飼料など研究開発の促進

### 《加工・販売事業》

- ・主要取引先との関係強化
- ・仕入、在庫管理の徹底
- ・付加価値商品の開発、拡販  
シーマルシェ「本鮪の極」など



# 2014年3月期 業績予想及び下半期方針



## 投資計画

		通期合計
極洋	生産設備増強・改修	3億円
	IT関連	3億円
	その他	1億円
	計	7億円
関係会社	生産設備増強・改修	6億円
	漁撈設備増強・改修	3億円
	その他	2億円
	計	11億円



本資料は、2013年9月末までの業績及び今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的として作成しており、必ずしも投資をお勧めするものではありません。

本資料に含まれる業績予想及び将来の予測は、現時点で入手される情報に基づくものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

したがって、実際の業績は、様々な要因により、これらの予想と異なることがありますのでご承知おきください。

当資料に対する問い合わせ窓口

株式会社 極 洋 企画部      電話03-5545-0703

本資料は株式会社極洋が作成したものであり、内容に関する一切の権利は当社に帰属します。複写及び無断転載はご遠慮ください。